

科目（講座名）		数学B	2単位	学校必履修
教科書	改訂版 高等学校 数学B（数研出版）		担当教諭	
副教材	改訂版4プロセス 数学Ⅱ＋B 改訂版はぎ取り式練習ドリル 数学B 標準編			

学習の目標

ベクトル、数列について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

授業内容

第1章 平面上のベクトル

1節 ベクトルとその演算 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積
2節 ベクトルと平面図形 1. 位置ベクトル 2. ベクトルの図形への応用 3. 図形のベクトルによる表示

第2章 空間ベクトル

1節 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積
5. ベクトルの図形への応用 6. 空間座標における図形

第3章 数列

1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和
4. 等比数列 5. 等比数列の和
2節 いろいろな数列 1. 和の記号 Σ 2. 階差数列 3. いろいろな数列の和
3節 数学的帰納法 1. 漸化式 2. 数学的帰納法

学習方法

習熟度別のクラス展開をし、生徒の理解に合わせて授業を行っていく。
「例」や「例題」の解説、「問」「練習」及び各章末の「演習問題」などで、問題演習を行い、学習事項を確認する。また、副教材、プリント等で補足の学習を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	数学的活動を通して数列，ベクトルにおける考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して数列，ベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。
表現・処理	数列，ベクトルにおいて，事象を数学的に考察し，表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決する。
知識・理解	数列，ベクトルにおける基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付けている。

評価方法

1. 年5回の定期考査、課題テスト
2. 課題等の提出物
3. 出席状況、学習態度などを年間を通して総合的に判断し、評価する。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	1 0	第1章 平面上のベクトル	1節 ベクトルとその演算 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。
	5	1 6		2節 ベクトルと平面図形 1. 位置ベクトル 2. ベクトルの図形への応用 3. 図形のベクトルによる表示	
	6				
2	9	1 2	第2章 空間ベクトル 第3章 数列	1節 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 空間座標における図形	ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする 簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにする。
	10				
	11	1 4		1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	
3	12				
	1	1 8		2節 いろいろな数列 1. 和の記号 Σ 2. 階差数列 3. いろいろな数列の和	
	2			3節 数学的帰納法 1. 漸化式 2. 数学的帰納法	
	3				